

子どもステーション山口

プラスチックフリーの暮らしが未来を変える!

外出先で喉が渇くと、つい買ってしまっていたペットボトルですが…

ストローが鼻に刺さったウミガメや、プラスチックでお腹がいっぱいになったクジラのニュースが世界中に広がって、海のプラスチック問題が一気に注目を集めました。そんなニュースをきっかけに使い捨てプラスチックを減らそうと、エコバッグやマイボトルを持ち歩いている人も多くなりました。

実は、世界が脱プラスチックに向かってのには、もう1つ重大な理由があります。それは、気候変動です。

昨年、スウェーデンのトゥンベリさんが地球温暖化の原因を作っているおとなの政治責任を追及したのは耳に新しいですね。でも私たち一人ひとりのふだんの心がけもとても大事です。

- ペットボトルの85%がリサイクル、リユースされているのですが、残りは焼却や埋め立て。となると自然環境が破壊され、地球温暖化にもつながります。
- 家庭で使われたプラスチック製品のリサイクル率は45%。

- スーパーでレジ袋を断ったら…レジ袋をもらって、焼却・埋め立てする場合にくらべて次の効果があります。(レジ袋Lサイズ147枚=1kgの場合)
- エネルギー使用量は…原油換算で1.5リットルが節約。
- 二酸化炭素は…4.5kg減る。

日本は今までペットボトルなどのプラスチックゴミは、中国や東南アジアへ輸出していましたが、現在では相手国の受け入れが中止になったりと、国内での処理が求められています。私たちは自分ごととして、もっと本気でプラスチックゴミを減らす努力が必要です。

世界的にも企業がプラスチック製のストローやレジ袋を紙製に変えたりと努力をしています。が、気がつけば私たちの身の回りにはプラスチックがあふれています。安いから、便利だからと、つい100円ショップなどでプラスチック製品を気軽に買っていますか? 子どもたちの未来の環境を意識しながら、それぞれがプラスチックフリーの暮らしにシフトさせていきたいですね。(ウスイ)



わすれない 3.11

2013年、安倍首相が「福島はアンダーコントロール」と高らかに宣言して招致を勝ち取った東京五輪。いつのまにか復興五輪という呼び方もされてきました。国内では福島をスタート地として聖火リレーが始まろうとしていた直前の3月24日、この夏の東京五輪は延期になりました。

福島県双葉郡葛尾村は福島第1原発から約25キロ。原発事故が起き、当時6歳の佐久間亮次君は家族で福島市へ避難した。父が牧場で飼っていた130頭の牛は、十分な餌や水が与えられず次々と死にすべてを手放した。その後父親は酪農を再開するか何年も悩んでいた。やがて小学5年生になった亮次君の体育館に貼り出された力強い習字の文字「夢らくのうかになってやる」を見て、再開を決意する。今、中学3年生になった亮次君は父の仕事を手伝いながら、「村の農業を世界に発信し、酪農家として夢を叶える一歩としても走りたい」とリレー選手に手を挙げた。(朝日新聞連載「聖火がまちに」2020.1.24より抜粋)

被災地の人々のささやかな夢はちょっとお預けになりました。けれど1年先、たぶんオリンピックは開催される(?)でしょう。その時、聖火リレーの沿道に映像のカメラが回る陰で、第1原発では依然、廃炉作業が続いているでしょう。今、沿岸部にうす高く積まれたままの黒いフレコンバックはどうでしょうか、やっぱりそのままでしょうか。双葉町の暮らしが永遠に戻らないことだけは依然として変わりません。「復興」の言葉の行方を見守りたいと思います。(ウスイ)

子どもステーション山口

子どもたちが文化芸術に親しんで、心ゆたかな子ども時代を過ごせることを願って活動しています。プロの舞台芸術に出会う舞台鑑賞会のほかに、キャンプや子どもまつりなど、たくさんの仲間といっしょに活動できる場をサポート。大人にも、「子どもと共に育ちあう」学習の機会を提供しています。また各地区ブロックでは、会員が地域のつながりを大切にしながら独自の楽しい活動を行っています。

入会お待ちしています…舞台鑑賞会の入場料が無料です!

- 正会員 月会費2,500円(子どもの登録OK) 子どもの登録料(一人500円/年)
 - 準会員 月会費1,300円(大人だけの参加)
 - 賛助会員 個人会費:一口5,000円/年 団体会費:一口10,000円/年
- ※寄付も随時、募っています。
※年間3,000円以上ご寄付いただいた方は確定申告により、税額控除が受けられます。

ちょっとのそいでみておくれ!

「支え人」とは… NPOの活動に賛同した企業が自社の商品販売する中で、売り上げの一部をNPOに寄付する山口独自のシステムです。

《「支え人。」としてのご支援をいただいている企業》
■(株)メルシー ■リンドヴルム ■ポーラ Sweet

【子どもステーション山口の4月の会員】
正会員126人 準会員62人 子ども登録数245人 計433人

子どもステーション山口 LineUp 2020 舞台鑑賞会の予定

変更になることがあります。ご了承ください。
人形劇 火よう日のごちそうはひきがえる 5月16日(土)→2021年4月3日(土)に延期 山口市民会館 小ホール 《人形劇団 京芸》

ちゃんぶるー 〜私が幽霊!? 修学旅行〜 5月29日(金)→延期 山口市民会館 小ホール 《児演協》

ちびっこアドベンチャー ビンツータンレーハッシュウレー 7月12日(日) 山口市民会館 小ホール 《日本独立博物館》

あっちこちdeアート たっちゃんの紙芝居+ 8月27日(木)~30日(日) 市内地域交流センター他《マーガレット一家》

らくだ 8月30日(日) 山口市民会館 小ホール 《はくはく☆カンパニー》

人形劇 トクントクン 〜いのちの旅〜 11月29日(日) 山口市民会館 小ホール 《人形劇団 クラルテ》

2021年 はなのき村 2月20日(土) 山口市民会館 小ホール 《劇団 うりんご》

左手のピアニスト 智内威雄 3月12日(金) ニューメディアプラザ山口

智内威雄 やわらかコンサート 3月13日(土) C・S赤れんが

自分たちで舞台をつくってみよう 子どもステージ る・リ・フリー-2021 舞台発表 2021年2月28日(日) 山口県立図書館レクチャールーム

赤れんがだより クリエイティブ・スペース赤れんがは 子どもステーション山口が指定管理者となっています。

9月16日(水)~27日(日) 馬場良治展 12月12日(土) チェンパロコンサート 2021年1月14日(木)~16日(土) 公共ホール音楽活性化支援事業 (おんかつ)

編集後記 ■普段は会話も減っていた高2の娘と、この度の休校で思わず一掃の時間ができた。「感染が広がったらこんなことできないから」と、かこつけて何年ぶりかハグしてみた。お互いボンボンと背中をたたく、少しホッとしたり、大きくなったなあと思ったり。(クラタ)

■「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」イギリスの底辺層に暮らす中学生の感性和発想に心がじわっと前向きになる。今、コロナ感染に連なる経済が世界の底辺層にひどい打撃を与えている。「すぐれた政府とは弱者を見捨てない政府」。日本の政府は?!(ウスイ)

■桜も菜の花も、木々の緑もきらきらと、やってきた春はいつもよりも輝いて、正しさがわからないまま、イライラと大事な時間をお食っているようで、不安や怒りやそんなマイナスな感情に支配されつつあったけど、うん、きっと大丈夫。(カキタ)

YA!

【子どもステーション山口 広報紙】
2020年5月1日 発行
発行・認定NPO法人子どもステーション山口
ご意見・ご感想お待ちしています。
〒753-0047 山口市道場門前2-4-20国近ビル2F
TEL・FAX 083-925-1486 ☒co26station@yahoo.co.jp
【事務局】 開局日 月~金10:00~17:00

さまざまな体験・たくさんのおなか…そんな出会いの中で子どもたちがいきいきと活動しているようすなどをお伝えします



2020年5月1日発行(年2回)
発行/認定NPO法人子どもステーション山口



たちどまってミルかんがえてミル
はじまります、新しい学習指導要領 1p

「ちがう」からおもしろい 2p

子どもたちの体験と活躍がすてき! 3p

プラスチックフリーの暮らしが未来を変える! 4p

糸川川砂防園で開催された「いちにちプレーパーク」。この日は梅が咲き始め、朝からの雨もあがって春の兆し。木にロープを渡して綱渡り。

はじまります、新しい学習指導要領

2020年、小学校では、新学習指導要領による授業がはじまります。耳にすることはあるけれど、一体なにが変わったの? 子どもたちの毎日は、どんなふうになっているの?

いちばん大きく変わるころは「アクティブ・ラーニング=主体的・対話的で深い学び」をめざしている点です。これは、暗記や詰め込みではなく、議論し考えることを促す学び。主体的で対話的…? 自分の意見をもったうえで、相手と対話することで考えを深めていく、ということでしょうか。

そして、英語の教科化。数年前に話題になってから、習い事として英語を学ぶ幼児が増えました。英語の教科化には移行期間があったため、ほとんどの小学校で定着しつつあります。5、6年生では教科となり、3、4年生も外国語活動という授業をうけています。そのため、3~6年生の授業時間は年35コマの増加。これは、週に約1コマ増える計算になります。ただでさえ、授業数はパンパン。その時間を捻出するのに、学校が頭を悩ませているという話もききます。

「特別の教科 道徳」というものも。これまでも道徳はありましたが、教科となると、記述式ではありませんが、

評価されることとなります。人の考えに対する評価って、どんな評価なのでしょう? 教科書には、導きたい方向が示されています。授業はそこへ向かって進んでいきます。人と違うことを答えるのは、そもそも勇気のいること。教科書にある答えと、自分の思いが違ったら…。いろんな考えがあっていいという世の中には、ほど遠い気もしてきます。これは、アクティブ・ラーニングといえるのでしょうか? 教科書は、文部科学省による検定をうけ、合格したものしか採用されません。いわゆる「道徳的」な人間を育てるため、一定の価値観にあてはめようとしている気がしてなりません。

プログラミング教育もはじまります。とにかく、やるが増えることは一目瞭然。じっくり考えるには、十分な時間が必要で。かといって、これまでの内

容が減られるわけではありません。教科書のページ数は平均で14%増といわれています。先生たちも大変です。働き方改革なんていわれているけど、そんなものがほど遠いことは簡単に想像できます。一斉休校にゆれた春。こんなにも学校と給食がありがたいものだったとは、と実感する日々でした。あまりにもあたりまで、考えもしないことって意外とあるものです。子どもたちが学校でどんな勉強をしているのか? これもそのひとつかもしれません。

教育で人は作られます。「これが正しい」と言われれば、人はそれを信じるようになります。これからの教育が、本当に子どもに必要なものになっているのかどうか。学校まかせではなく、わたしたちも子どもの気持ちによりそい見守りながら、一緒に考えていく必要があるそうです。(カキタ)

